

KANKI
MIXER
KM/KMC型

取扱説明書

 **関西機械工業株式会社**

〒607-8258 京都市山科区小野西浦 38-49

TEL 075-571-9331

FAX 075-571-2721

この度は、KANKI MIXERをお買上げいただきありがとうございます。
本機は50ℓ～2,000ℓ程度の少容量の液体を攪拌するために開発しました。

KANKI MIXERに関しましてご希望やお気付きの点がございましたら
販売店(代理店)または直接弊社宛にご遠慮なくお申し付けくださいませ。



安全に関する
ご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

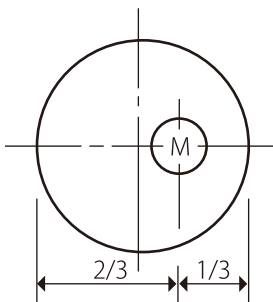
1. 現品の到着

攪拌機がお手元に到着しましたら、まず次の事をご確認ください。

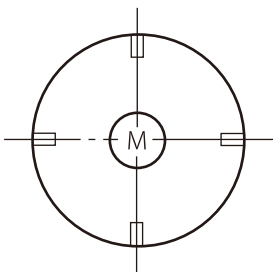
- ① 御注文の機種・規格・寸法・個数が正しいかどうかご確認ください。
- ② 運送途中において各部分、特に本体、攪拌軸、羽根の員数とそれらに破損が無いかをよくご確認ください。
- ③ 弊社では製品に対し、出荷検査に万全を期しておりますが、輸送途中において攪拌機各部のボルト・ナット等が緩んでいないか点検してください。
万一、異常や不備がありましたら直ちに弊社または販売店(代理店)にお知らせください。
- ④ ゴム、その他のライニング・コーティングを施した攪拌シャフト(羽根付)は、キズ・めくれ・打痕等異常が無いをご確認ください。傷を付けない為にも取付作業直前に開梱されますようお願いいたします。

2. 据付要領

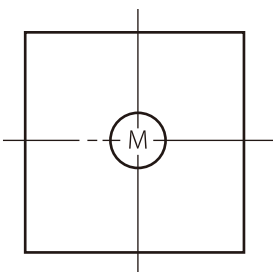
[1] タンクにより攪拌機を取付位置を決めてください。



- ① 丸タンクで邪魔板が無い場合は、タンク直径の1/3程度に取付けてください。

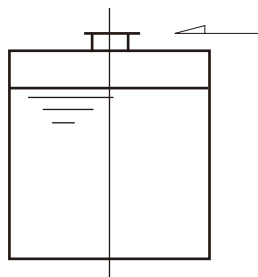


- ② 丸タンクで邪魔板が有る場合は、タンクの中心に取付けてください。

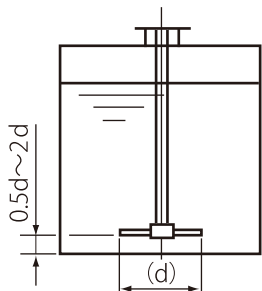


- ③ 角タンクの場合は、タンクの中心に取付けてください。

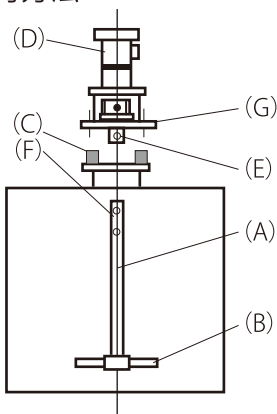
【2】 攪拌機の取付面は、水平になるようにしてください。水平でない場合、不具合・破損の原因となります。



【3】 羽根の位置は、タンク底部より羽根径 (d) の0.5~2倍程度としてください。(機種・用途により異なります)



【4】 取付方法



- ① タンクの取付面に角材等 (C) を置き、攪拌機本体 (D) を仮置きします。
- ② 攪拌シャフト (A) に羽根 (B) を取付けてください。(六角レンチまたはスパナにて)
- ③ ②で取付けたシャフト (A) を側壁に当たらないようにしながらタンクの中に入れ、シャフト (A) を (E) 部奥に当たるまで差し込み (F) のセット穴 2ヶ所を合わせて取付けてください。(六角レンチにて)
- ④ 最後に仮置き角材等 (C) を取除き、攪拌機取付座と (G) をボルト・ナットで固定してください。(4ヶ所)

【5】 攪拌シャフトの振れの確認

据付作業は以上で完了ですが、攪拌機をタンクに固定後、攪拌シャフトの振れを確認することが必要です。

減速機のファンカバー (最頂部) を取外し、手回して振れの異常が無いかご確認ください。

(機種によりファンカバーの無いものがありますので、瞬時通電にてご確認ください。)

3. 運転準備

- ① タンクに確実に固定されているか確認のうえ、水張りをしてください。
回転方向が表示してありますので、入力電源は上部から見て出力軸が右回り (時計回り) になるように結線してください。
- ② 単相電源の場合、必ず附属のコンデンサをご使用ください。(コンデンサ内蔵機種もあります)

4. 運転中の注意事項

- ① 運転準備完了後電源を入れてください。モータ・本体・シャフト等に異常音が無いか、振動が無いかご確認ください。
異常が無ければ、ご使用薬品等を入れて、正常運転を開始してください。



注意

- ② インダクションモータ (E種絶縁) を使用しておりますのでモータケース表面温度はかなり高くなり、場合によっては90℃近くになることがあります。絶対にモータ部及び出力軸部付近は素手で触らないでください。また、回転部分には手や物を入れないでください。

5. 保守点検

本機は、グリスまたはオイル注入の必要はありません。
モータ及び減速機の保守については、別紙取扱説明書をご参照ください。

6. 故障の原因と対策（一般的）

	故障の状態と原因	処理(応急)対策
攪拌力が強過ぎる	攪拌流動が強過ぎる	▶ 小さい攪拌翼に変えるかシャフトの回転数を下げる
	内容液が槽よりあふれる	▶ 小さい攪拌翼に変えるかシャフトの回転数を下げる
	泡が発生する	▶ 上部の攪拌翼を外す(2段羽根のみ)
攪拌性能がよくない	攪拌翼が脱落している	▶ 攪拌翼を取付けてボルトを締める
	シャフトの回転方向が逆	▶ 電気結線を変える
	攪拌容量が多過ぎる	▶ 仕込み量を減らす
	攪拌翼を上向きに取付けた	▶ 正しい方向の下向きに直す
攪拌シャフトが振れる	シャフトが曲がっている	▶ 新品のシャフトと交換
	空転している	▶ 液上下の液位の制限に注意する (またはフロートスイッチなどを取付ける)
	空気を多量に吸い込んでいる	▶ 水位を上げるか2段羽根の場合上部攪拌翼を外す
	攪拌翼が正しく取付けられていない	▶ 軸のセット穴に攪拌翼のボルトが正しく合っているか確認する
	シャフトが正しく取付けられていない	▶ カップリングとシャフト接続部のネジ穴が 2ヶ所留まっているか確認する
	固形物を投入した	▶ ストレーナ等で固形物が入らないようにする
振動が発生する	締付固定ナットがゆるんでいる	▶ ボルト・ナットを締め直す
	取付架台が弱い	▶ 架台を補強する
	シャフトが振れている	▶ 上記「攪拌シャフトが振れる」の項目を参照
異常音を発している	ギヤ部が破損している	▶ 新品のギヤ部と交換する
	軸受の損傷・焼付き・摩耗	▶ 新品と交換する(ボディー式となります)
	雨水やゴミ、コンタミなどが入った	▶ ボディを分解して清掃し、不純物が入らないようにする